

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成20年2月7日(2008.2.7)

【公表番号】特表2007-516682(P2007-516682A)

【公表日】平成19年6月21日(2007.6.21)

【年通号数】公開・登録公報2007-023

【出願番号】特願2006-547106(P2006-547106)

【国際特許分類】

H 01 Q	9/26	(2006.01)
G 06 K	19/07	(2006.01)
G 06 K	19/077	(2006.01)
H 01 Q	1/38	(2006.01)
H 04 B	5/02	(2006.01)
H 04 B	1/59	(2006.01)

【F I】

H 01 Q	9/26	
G 06 K	19/00	H
G 06 K	19/00	K
H 01 Q	1/38	
H 04 B	5/02	
H 04 B	1/59	

【手続補正書】

【提出日】平成19年12月11日(2007.12.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

a ) 誘電体基板と、

b ) 前記誘電体基板に取り付けられたアンテナであって、

i ) 第1のアンテナ素子であって、該第1のアンテナ素子が第1の導体及び第2の導体を含み、各前記導体は第1の端部及び該第1の端部と反対側の第2の端部を有する、第1のアンテナ素子と、

i i ) 第2のアンテナ素子であって、該第2のアンテナ素子は、閉じたループの形状の第1の部分及び第2の部分を含み、前記第1の部分は前記第1の導体の前記第2の端部に取り付けられ、前記第2の部分は前記第2の導体の前記第2の端部に取り付けられる、第2のアンテナ素子と、

を含むアンテナと、

c ) 前記第1の導体の前記第1の端部及び前記第2の導体の前記第1の端部に電気的に接続された集積回路と、

を含む、無線周波識別タグ。

【請求項2】

前記集積回路は第1のインピーダンス値を有し、前記アンテナは第2のインピーダンス値を有し、前記第2のインピーダンス値の実数成分の大きさは前記第1のインピーダンス値の実数成分の大きさと実質的に同様であり、前記第2のインピーダンス値の虚数成分の大きさは前記第1のインピーダンス値の虚数成分の大きさと実質的に同様であり、前記第

1のインピーダンス値の虚数成分の位相と前記第2のインピーダンス値の虚数成分の位相とは逆である、請求項1に記載の無線周波識別タグ。

【請求項3】

前記第1のアンテナ素子のインピーダンスは第1の実数成分値及び第1の虚数成分値を有し、前記第2のアンテナ素子のインピーダンスは第2の実数成分値及び第2の虚数成分値を有し、前記第2のアンテナ素子のインピーダンスは、前記第1の実数成分値及び前記第1の虚数成分値を平衡させるのを支援する第2の実数成分値及び第2の虚数成分値を備え、前記集積回路の前記第1のインピーダンス値と実質的に同様な前記アンテナの前記第2のインピーダンス値を備えるように選定される、請求項2に記載の無線周波識別タグ。